

やっぱり、鹿島のための合併でないのか

良夫 住民説明会では「合併 Q & A」とを配っているね。その中には鹿島と合併しても、財政的に心配なことは何もありませんとかいてあるよ。

鹿島市財政に大きな重荷 - - 下水道と中木庭ダム

太郎 鹿島の財政の実態をよくみれば、ウソだということがすぐわかる。まず、下水道だ。鹿島の下水道計画は、33年度まで総事業費524億円で実行されることになっている。次の表は、5年度から15年度までの11年間におこなわれた一般会計から下水道会計への繰り入れと借金をまとめたものだ。16年度から25年度までの10年間の計画ものをせてある。負担が大きいので、鹿島では33年度までの計画を大幅にのばすことも検討しているようだ。

| | 5～15年度の実績 | | 16～25年度の計画 | |
|------------|-----------|--------|------------|--------|
| | 合計 | 年平均 | 合計 | 年平均 |
| 一般会計からの繰入金 | 54.37億円 | 4.94億円 | 70.37億円 | 7.04億円 |
| 借金 | 47.96億円 | 4.40億円 | 36.17億円 | 3.62億円 |

良夫 毎年平均3億6200万円も借金して、7億円も一般会計から繰り入れる---大変な重荷だ。一般会計からの繰り入れというのは、合併すると、太良の私たちも負担しなければならないということだね。水道のほうはどうかね。

太郎 中木庭ダムの問題がある。中木庭ダムは多目的ダムで、その目的の一つは鹿島市に水道水を供給することだ。それで、鹿島市は毎年の建設費の8.7%を負担することになっている。14年度は1億4833万円、15年度は3億0150万円を負担している。そのうちの半分は国から補助金が出ている。

良夫 350億円の8.7%というと30億円ほどになるね。

太郎 15年度末で工事は6割ほど進んでいるから、これまで18億円ほど負担したことになる。

良夫 あと12億円残っている勘定になるね。だけど、鹿島の桑原市長は、中木庭ダムからは水は引かないといていたよ。

太郎 この負担金は、鹿島が水を引くかどうかに関わりなく負担しなければならないお金だ。それに、水を引かないとなったら、国の補助金返還というややこしい問題が出てくる。

良夫 それが、また、太良の私たちにも負担としてかかってくるんだね。

借金のツケで、警戒ラインをこえていた鹿島の財政

太郎 鹿島市は、11年3月に「鹿島市中心市街地活性化基本計画」というをつくっている。

良夫 スカイロードとかさくら通りのことだね。

太郎 鹿島駅前広場整備や周辺整備がこの後の計画として残されている。「新市まちづくり計画」に「駅前広場整備事業」とか「さくら通り商業基盤整備事業」とあげているのがそれだ。

良夫 下水道に毎年何億円もつぎ込まなければならない、駅前周辺整備などに多額の資金が必要となると、いくらお金があっても足りないね。

太郎 鹿島市は義眉山公園整備、下水道などでお金を使いすぎて、大変な借金をつくってしまった。財政の健全さをあらわすのに「公債費負担比率」という用語があるが、15%以上が警戒ライン、20%以上が危険ラインとされている。鹿島と太良をくらべたのが右の表だ。

| | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 鹿島市 | 16.7% | 17.3% | 20.3% | 18.2% |
| 太良町 | 8.4% | 9.1% | 10.2% | 12.7% |

良夫 鹿島はずっと警戒ラインを超えている。

特に、13年度は20%の危険ラインも超えている。鹿島の財政は深刻だったんだね。

太良と合併すれば、合併特例債125億円

太郎 そのとおりだ。14年4月の新聞は「市民が今後も借金の重いツケに苦しむのは間違いないようだ」と書いていた。

良夫 なるほど。鹿島の財政難を乗り切るための合併話だったんだね。嬉野や塩田は武雄との合併をえらんだから、残ったのは太良しかない。太良と合併すれば、合併特例債を125億円まで借りることができる。これで、鹿島がなぜ太良と合併したがつているのかよくわかったよ。やっぱり、鹿島のための合併なんだね。

合併反対・太良町を残そう

No.24 2004.5.25

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

何を削り、何を残すかは町民がきめることだ

良夫 住民説明会で「合併しなかった場合の財政試算」が議論を呼んでいるね。「あれも廃止する、これもできないという話ばかりだ」という声を聞くよ。

合併を進めるための脅しではないか

太郎 鹿島も「財政試算」を発表したが、太良の「財政試算」とくらべておどろいた。あちこちで、全く同じ文章がいっぱいある。文書の体裁からみても、両方とも同じ見本にあわせて作ったとしか思えない。

良夫 合併協議会が指導して「合併しなかったらこんなに大変なことになるぞ」という脅しのために作ったんじゃないかと疑いたくなるね。しばらく姿をみせていなかった「合併タイムス」がここぞとばかり宣伝し始めた。

太郎 何を削るか、町民の負担をどうするかは、あくまでも、太良町民が議論して決めるべきことだ。百武町長もこれは試算だと言っていた。

良夫 そのとおりだよ。太良のことは太良で決めるよ。「財政試算」の通りではなく、経費をけずって太良町を残すにはどうしたらいいのだろう。

お願い
ピラ発行を続けるため、資金カンパにご協力下さい。
宣伝カー（軽自動車）の運転にご協力下さい。

人件費・事務費などで7～8000万円の追加の経費削減

負担増を押さえ、施設や事業を残すことができる

良夫 建設事業などの事業費はどうだろう。

太郎 合併協議会の「新市まちづくり計画」にあげてある建設事業は20年間で約90億円だ。その中には、病院など特別会計のものもあるから、普通会計分はもっと少なくなる。町役場がつくった「財政試算」では建設事業にあてることのできるお金は20年間で約81億円だ。

良夫 合併しなくても、必要な建設事業はほとんどできると言うことだね。

合併したら、太良のことを自分たちで決めることができなくなる

太郎 ある町会議員さんが、大浦支所の問題でこんなことを言っていた。「合併しなかったら、大浦支所は残せる。太良町議会が廃止を承知するはずがない。逆に、合併したら鹿島いいなりの市議会になって、大浦支所は廃止されてしまう」というのだ。

良夫 本当だね。合併したら、太良のことを自分たちで決めることもできなくなる。ここが大事だね。

太郎 合併しても、合併しなくても財政が厳しくなることは同じだ。違うのは、太良に町議会と役場を残せるかどうかということだ。

良夫 それだったら、合併しないで太良町を残した方がいいに決まっているよ。町民の負担をどうするか、どんな事業をおこなうか、どう改革するか---自分たちで決めることができる。合併して、何事も鹿島のいいなりになって、みじめな思いをするよりはるかにいい。

太郎 多少の苦労はあっても、太良町を残せば、希望もてる。ここに確信をもって、合併反対・太良町を残すために力をあわせよう。

人件費や事務経費をもっと減らせば

町民の負担増を押さえ、必要な施設・事業は残せる

太郎 「財政試算」では、職員定数を23年度までに11名減らすことになっているが、26年度まで19名削減すると、人件費の削減はもっとできる。1人分の人件費が約770万円だから、これで、6000万円以上の人件費の追加の削減ができる。

良夫 そんなに職員が減らせるかね。

太郎 現在、役場には現在10ほどの課と2委員会、その他の室・局などがあるが、これをもっと大きな課・委員会にまとめたらどうだろう。まず、管理職が減らせる。ある部門が忙しくなったら他の部門の職員が応援するというように、柔軟な組織にする。補助的な仕事には民間のボランティアもお願いする。そうすれば、少ない職員で沢山の仕事ができる。こんな役場の改革が必要だ。